

1. 「学びの変革」によって学力をはじめとした資質・能力を確実に育成する

※ 県総合計画に応じて変更の可能性あり

- ・オンライン・対面のよさの双方を取り入れたICT活用等による学びの変革(画一的な一斉授業から一人一人に応じた個別最適化された学び、遠隔地との交流も含め多様性を生かす協働的な学び、新たな価値を創造する深まりのある探究的な学びへの変革)
- ・学校段階を見通した学力向上、幼児教育段階からの非認知能力の育成
- ・STEAM教育等文理横断の学びの推進
- ・シティズンシップ教育(地域課題解決学習等のプロジェクト学習と演劇、哲学対話等のコミュニケーション教育)の推進 等

2. 「学校の在り方の変革」によって教師の力、学校の力を最大化する

- ・働き方改革、教職員の心身の健康保持
- ・教員の役割の変化や外部人材の役割等を踏まえた教員の役割の明確化
- ・多様なニーズに応えられる多様性のある教職員体制
- ・教員の養成・採用・研修(教員の資質向上、教員志願者の確保、特色ある教員の採用) 等

3. 学びのセーフティネットと個性を伸ばす教育によって多様性を力に変える土壌をつくる

- ・地域で共に学び、地域で共に生きる共生社会に向けた特別支援教育
- ・不登校生、外国人、帰国子女等への個別支援
- ・心のケア、家庭の経済的支援、家庭教育支援の充実
- ・高校の特色化・魅力化の推進等それぞれの子どもの強みを伸ばす教育の充実 等

4. 福島で学び、福島に誇りをもつことができる「ふくしまを生きる」教育を推進する

- ・学校と地域の連携・協働
- ・地域や復興の課題を生かし人や社会と接する探究的な学びの場の設定、失敗を克服する経験ができる場の充実
- ・震災の教訓の継承
- ・12市町村の教育の魅力化、福島イノベーション・コースト構想の推進 等

5. 人生100年時代を見通した多様な学びの場をつくる

- ・生涯に渡る健康マネジメント能力や学び続ける力の育成
- ・図書館、博物館、自然の家、伝承館の利活用 等